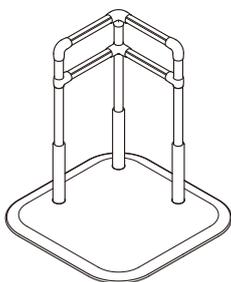
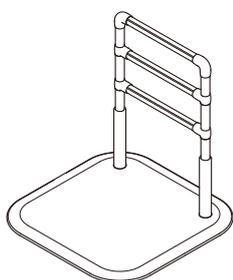


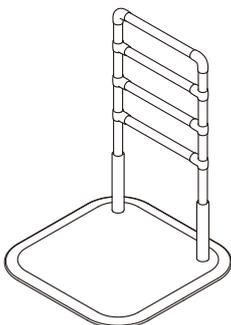
CKA-22



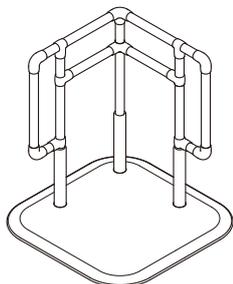
CKA-23



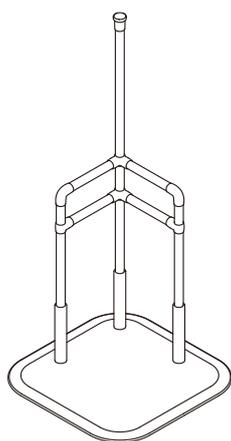
CKA-24



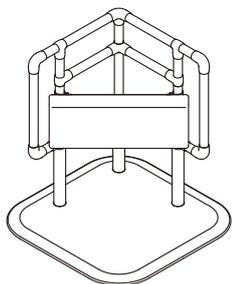
CKA-31



CKI-21



CKI-31



CKI-22

たちあっぷ® II

品番：CKA-22・CKA-23・CKA-24・CKA-31

たちあっぷ® II でらっくす

たちあっぷ® II ひざたち®

品番：CKI-21・CKI-22

たちあっぷ® II たててすり

品番：CKI-31

目次

！安全に関する表示	2
1. メンテナンスの目安	2
2. メンテナンス方法	3
3. 保管・輸送方法	8
4. 消毒方法	9
5. メンテナンス部品表	9

※ 本書記載の「たちあっぷ® IIシリーズ」とは、弊社製品「たちあっぷ® II でらっくす」、「たちあっぷ® II ひざたち®」、「たちあっぷ® II たててすり」、「たちあっぷ® II」を指します。

ご購入ありがとうございます

販売店様：このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

保管用

よくお読みください

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. メンテナンスの目安

場 所	状 態	対 処 方 法
全体	汚れ	2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	ガタつき	2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [9] 部品交換
	部品の変形、深いキズ、亀裂	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	部品がうまく取り付けられない	2. メンテナンス方法 [3] 取付方法の確認 [9] 部品交換
	ねじがスムーズに回らない	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
ベース	錆	2. メンテナンス方法 [4] 錆の除去 [9] 部品交換
	縁ゴムの外れ、破損	2. メンテナンス方法 [5] 縁ゴムの再取付 [9] 部品交換
スタンド	錆	2. メンテナンス方法 [4] 錆の除去 [9] 部品交換
	汚れ	2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	表面を磨いた跡が目立つ	2. メンテナンス方法 [8] スタンドの塗装
手すりフレーム	ジョイントが外れたり、深いキズや亀裂がある	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	手すりフレームのガタつき	2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [6] 手すりフレームを逆に取り付ける (CKA-22・CKA-24・CKA-31) [9] 部品交換
マット	マットの剥がれ、汚れ	2. メンテナンス方法 [7] マットの洗濯 [9] 部品交換
膝当て	生地のほつれや破れ、タッカー外れがある	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	ガタつき	2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [9] 部品交換
取付金具	変形、深いキズ、破損	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換

※メンテナンスの目安については、メンテナンスチェックシートも併せてご確認ください。

2. メンテナンス方法

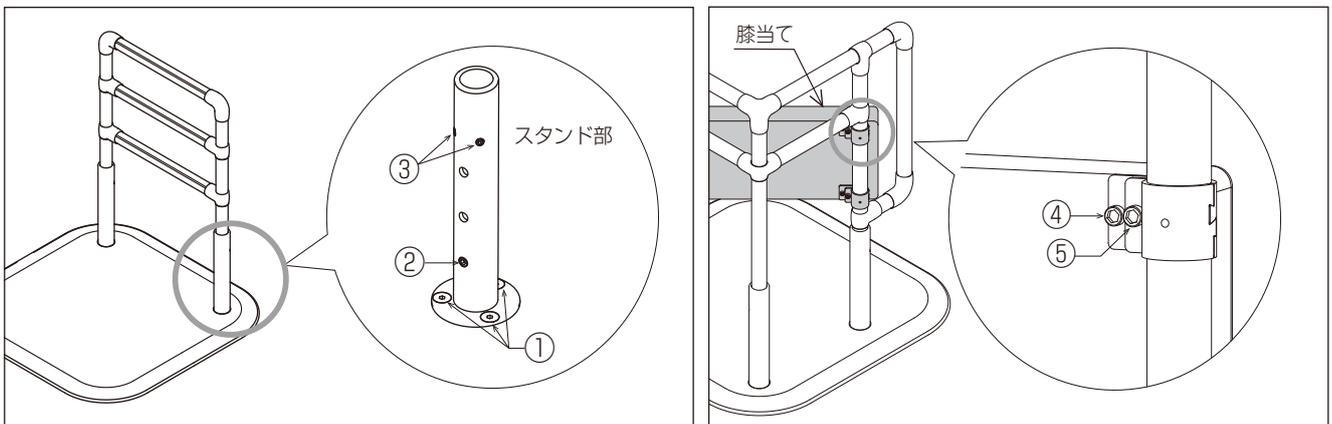
[1] 拭き取り

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。
- スタンドに指紋や手の跡がついているのが気になる際は、水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。

⚠ 注意	
 禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。 必ず中性洗剤を使用してください。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
	● 直射日光は避けて、陰干しする。

[2] ねじのゆるみ点検

- 必要工具：六角レンチ（対辺 4mm、対辺 5mm）
- 下図の①②③のねじが表内の指定締付けトルクで締め付けられていることを確認してください。ねじがゆるんでいる場合は指定締付けトルクでねじの締め付けを行ってください。スタンドと膝当てにガタつきがないこと、②六角穴付き止めねじ（M10×36）と③六角穴付き止めねじ（M8×5）のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認してください。
- 指定締付けトルクで締め付けられていてもガタつきがある場合は CKA-22・CKA-24・CKA-31 はフレームを逆に取り付けることでガタつきがなくなる場合があります（CKA-23・CKI-21・CKI-22・CKI-31 は逆に取り付けることができません）。「[6] 手すりフレームを逆に取り付ける」を行ってください。それ以外の場合は部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。



ねじ・ボルトの種類		必要工具	締付けトルク
①	 六角穴付き皿ねじ (M8×15)	六角レンチ対辺 5mm	12.5N・m { 128kgf・cm }
②	 六角穴付き止めねじ (M10×36)	六角レンチ対辺 5mm	6.9~7.8N・m { 70~80kgf・cm }
③	 六角穴付き止めねじ (M8×5)	六角レンチ対辺 4mm	3.9~4.9N・m { 40~50kgf・cm }
④	 六角穴付きボルト (M5×15)	六角レンチ対辺 4mm	1.5N・m { 15kgf・cm }
⑤	 六角穴付きボルト (M6×10)	六角レンチ対辺 5mm	9.8N・m { 100kgf・cm }

⚠ 注意	
 禁止	● 上記指定締付けトルク以上で締め付けない。
	● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 （ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）
 必ず守る	● ②六角穴付き止めねじ(M10×36)と③六角穴付き止めねじ(M8×5)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。

[3] 取付方法の確認

- 正しく取り付けられているかを「たちあがりⅡシリーズ 取扱説明書」で取付方法をご確認ください。取扱説明書通りの取付方法でも部品がうまく取り付けられない場合には、部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

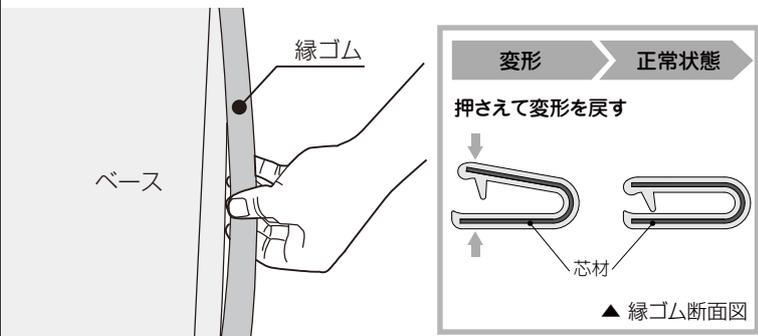
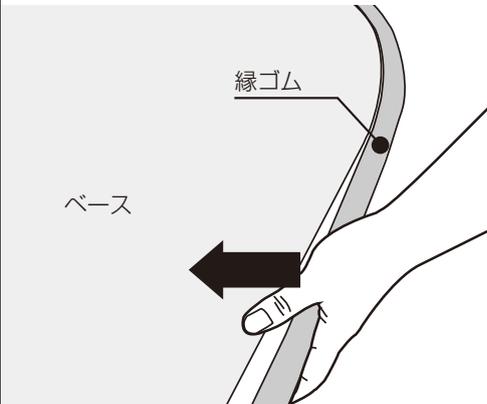
[4] 錆の除去

- 必要工具：紙やすり（耐水性）（推奨粒度：ひどい錆には #300、それ以外は #1000）
 - (1) 紙やすり（耐水性）は使用しやすい大きさに切ってください。
 - (2) 紙やすり（耐水性）#1000 で取り除いてください。
 - (3) (2) で取り除けない場合は紙やすり（耐水性）#300 で錆を取り除き、紙やすり（耐水性）#1000 で仕上げてください。
- 同じところを磨き続けると、その部分だけが軽く陥没することになりますので、注意してください。
- ベースやスタンドに変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[9] 部品交換」を行ってください。

⚠ 注意	
 <small>必ず守る</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙やすり（耐水性）は、使用する製品の取扱説明書をよく確認し作業する。 スタンドには表面処理を施しており、研磨した際は外観が変わる場合があります。

[5] 縁ゴムの再取付

- 一部の外れなどがあり縁ゴムに破損や劣化がない場合は再取付を行ってください。
縁ゴムに劣化や破損がある場合は「[9] 部品交換」をしてください。

<p>手順①</p> <p>縁ゴムは落下などの衝撃により、中の芯材が変形することがあります。変形したままはめ込んでもすぐに外れてしまうので、縁ゴムが外れた箇所を指で押さえつけて、縁ゴムの変形を矯正してください。指で押さえても変形が直らない場合は、ペンチなどで押さえてください。</p>  <p style="text-align: center;">▲ 縁ゴム断面図</p>	<p>手順②</p> <p>縁ゴムを手で押さえてベースにはめ込んでください。</p> 
--	---

⚠ 注意	
 <small>必ず守る</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 縁ゴムを取り付けたベースは平置きで保管する。 立てかけて保管しますと、縁ゴムに負荷がかかり、縁ゴムの中の芯材が変形し外れやすくなります。

[6] 手すりフレームを逆に取り付ける

- CKA-22・CKA-24・CKA-31 のみの対応となります。
- 手すりフレームのガタつきは、六角穴付き止めねじ (M8 × 5) の締め付けにより、手すりフレームの樹脂部が削れるため生じます。手すりフレームを逆に取り付けてください。
手すりフレームの取り外し・取付方法は「たちあがら II シリーズ 取扱説明書」をご確認ください。
- 手すりフレームを逆に取り付けてもガタつきがある場合は、部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

[7] マットの洗濯

- マット表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。
- 上記で汚れが取れない場合はマットを洗濯してください。
 - ・洗濯機は弱水流で中性洗剤を使用してください。
液温は 30℃ が限度です。
 - ・乾燥機の使用はできません。
 - ・柔軟剤は使用しないでください。
 - ・塩素系漂白剤による漂白は避けてください。
 - ・洗濯の後は陰干してよく乾かしてから使用してください。
- マットを洗濯してもマットが剥がれたり、汚れが落ちない場合は「[9] 部品交換」を行ってください。
- 寒くなると低温による樹脂の硬化や乾燥などの要因により吸着力が弱くなる場合があります。
その場合は、ぬるま湯につけて絞った布で拭き、部屋の温度を暖かくすることで吸着力は復活します。

 <small>液温は 30℃ を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる</small>	 <small>塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止</small>	 <small>日陰のつり干しがよい</small>
---	---	--

[8] スタンドの塗装

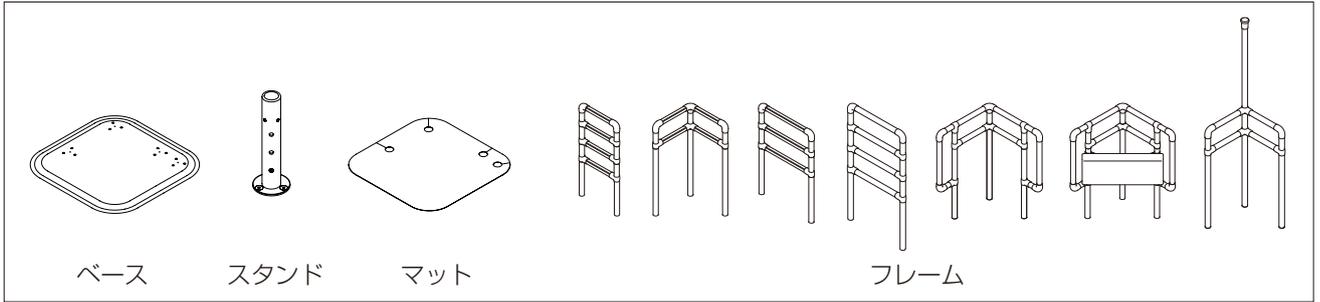
- たちあがらⅡスタンドはキズに強い表面処理を施しておりますが、キズの補修や錆の除去を行った際、紙やすりなどでスタンドの表面を広く磨くと金属光沢が目立つことがあります。
気になる場合は、下記の手順で全面に塗装を行ってください。
 - ①塗装面の油分、汚れ、水分などをパーツクリーナー等を使用して除去してください。
 - ②ステンレス対応のプライマーを塗布してください。(この作業を行わないと塗装が剥がれやすくなります。)
(推奨プライマー：株式会社 染めQ テクノロジー製 ミッチャクロン マルチ エアゾール)
 - ③たちあがらⅡスプレー塗料 (CKA-2AS SL) でスタンド表面を薄く 2～3 回重ねて塗装してください。
- 塗装中は、必要に応じてマスクや手袋を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにしてください。
- スタンドに変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[9] 部品交換」を行ってください。

※「ミッチャクロン」は、株式会社 染めQ テクノロジーの登録商標です。

⚠ 注意	
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 屋外または換気の良い場所で作業を行う。 密閉された作業場で行う場合は、局所排気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none">● マスクや手袋を着用する。 蒸気吸いこんだり、塗料に直接触れないようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none">● プライマーは使用する製品の取扱説明書をよく確認し、作業する。
	<ul style="list-style-type: none">● 塗装面の油分、汚れ、水分はよく拭き取ってから塗装する。 汚れたままで塗装をすると、塗膜の性能が低下する可能性があります。

[9] 部品交換

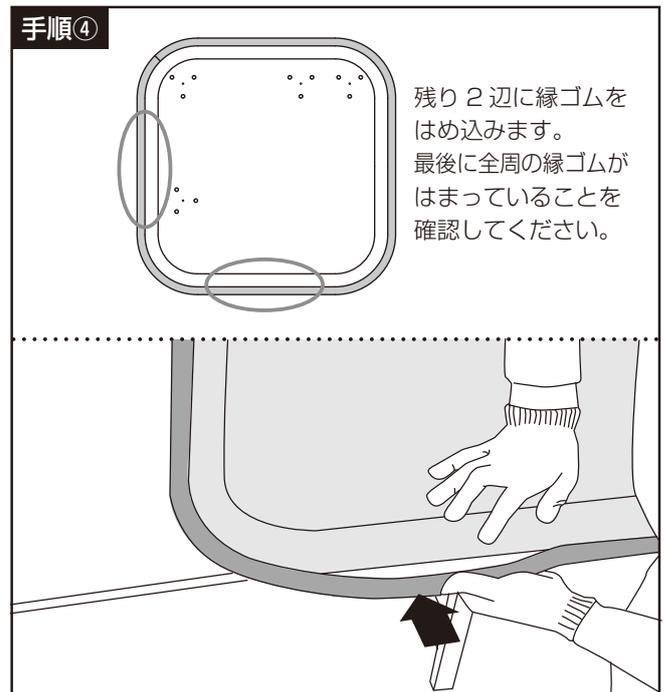
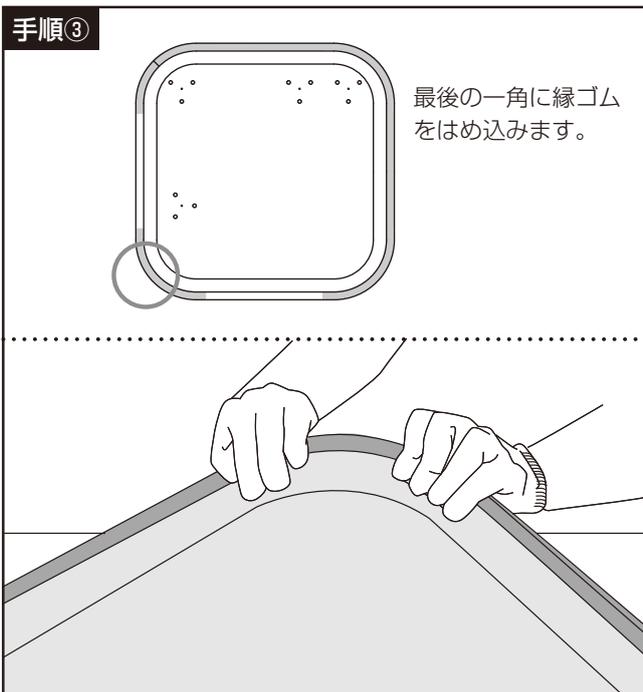
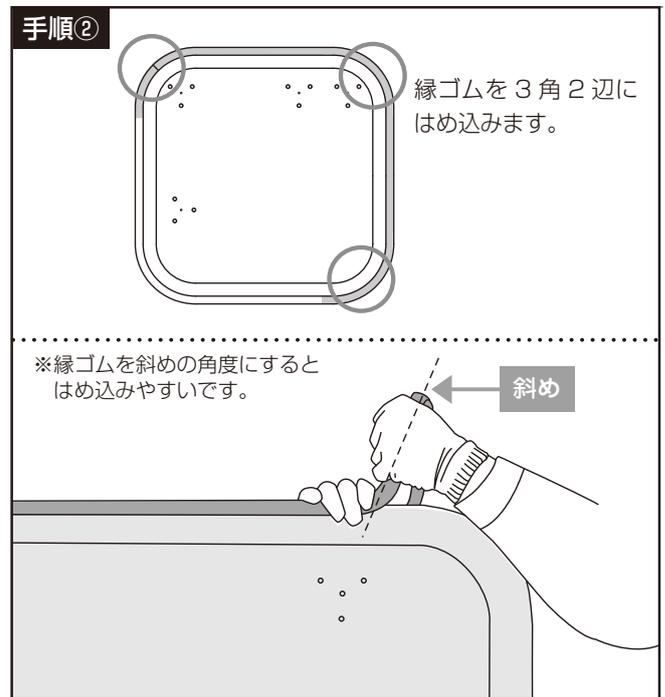
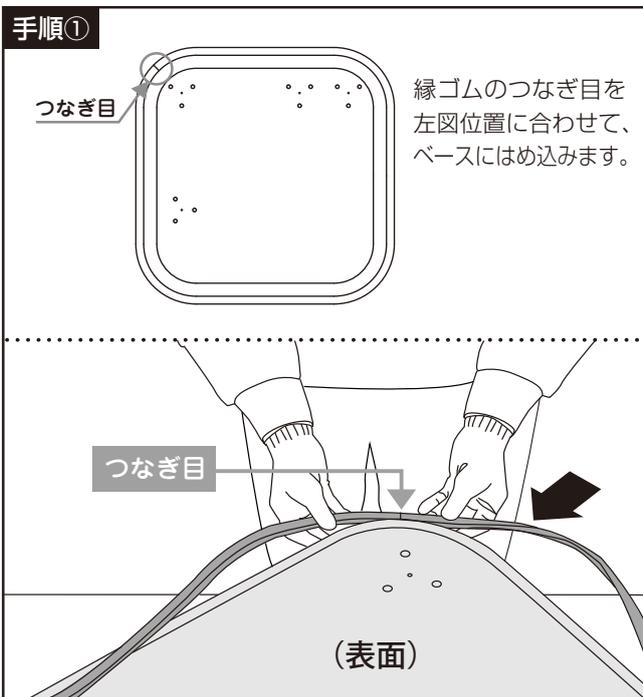
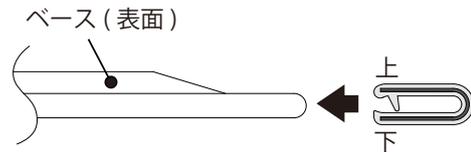
下記 10 部品の部品交換方法は「たちあっぷⅡシリーズ 取扱説明書」をご参照ください。



● 縁ゴムの交換

はじめに

取り付いている縁ゴムを引っ張って取り外してください。
新しい縁ゴムの上下、およびつなぎ目の位置を確認してください。

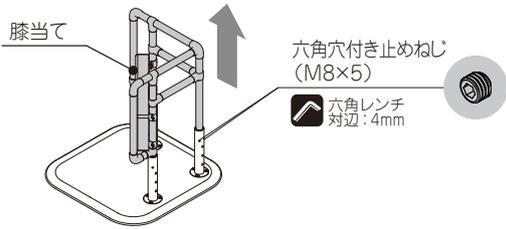
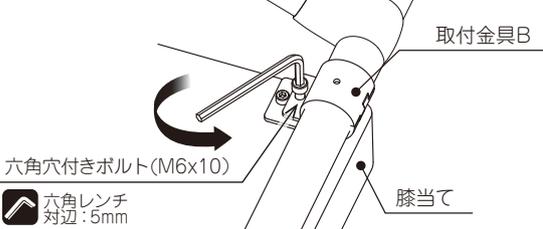
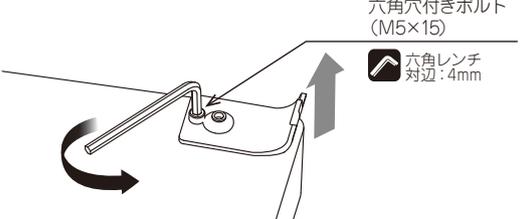
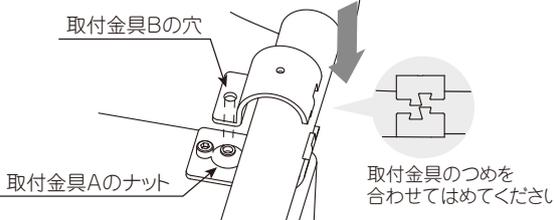
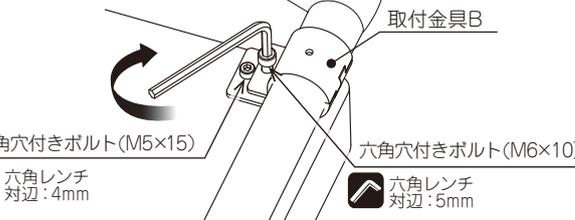
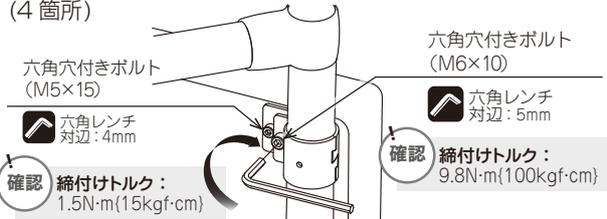
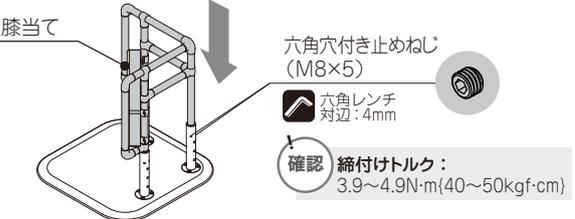


※以下は CKI-22 のみ必要な作業です。

- 取付金具の交換 (手順①～⑧をご参照ください)
- 膝当てセットの交換 (手順①②⑤～⑧をご参照ください)

はじめに

・用意するもの：新しい膝当てセットまたは取付金具、六角レンチ (4mm)、六角レンチ (5mm)

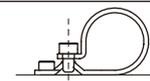
<p>手順①</p> <p>六角穴付き止めねじ6箇所を六角レンチでゆるめて、スタンドからフレームを取り外してください。交換作業は安定した台にて行ってください。</p>  <p>膝当て</p> <p>六角穴付き止めねじ (M8×5)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p>	<p>手順②</p> <p>六角穴付きボルト (M6×10) を六角レンチでゆるめて、取付金具 B を取り外してください。(4箇所) 膝当てを取り外します。</p>  <p>六角穴付きボルト (M6×10)</p> <p>六角レンチ 対辺: 5mm</p> <p>取付金具 B</p> <p>膝当て</p>
<p>※ 以下手順③～④は、取付金具を交換する際のみ必要な手順</p>	
<p>手順③</p> <p>六角穴付きボルト (M5×15) を六角レンチでゆるめて、取付金具 A を取り外してください。(4箇所)</p>  <p>六角穴付きボルト (M5×15)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p>	<p>手順④</p> <p>新しい取付金具 A を取付位置に置き、六角穴付きボルト (M5×15) を六角レンチで締め付けてください。(4箇所) 手すりフレームを金具にセットします。</p>  <p>六角穴付きボルト (M5×15)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p> <p>確認 締め付けトルク: 1.5N・m(15kgf・cm)</p>
<p>手順⑤</p> <p>膝当ての取付位置を決め、取付金具 B をはめます。取付金具 A のナット位置と取付金具 B の穴位置が合っていることを確認してください。</p>  <p>取付金具 B の穴</p> <p>取付金具 A のナット</p> <p>取付金具のつめを合わせてはめてください</p>	<p>手順⑥</p> <p>六角穴付きボルト (M6×10) を仮締めしてください。(4箇所) ボルトがまっすぐに入らない場合は、六角穴付きボルト (M5×15) をゆるめて位置を調整してください。</p>  <p>六角穴付きボルト (M6×10)</p> <p>六角穴付きボルト (M5×15)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p> <p>六角レンチ 対辺: 5mm</p> <p>取付金具 B</p>
<p>手順⑦</p> <p>仮締めした六角穴付きボルト (M6×10) を確実に締めこんでください (4箇所)。また、六角穴付きボルト (M5×15) をゆるめた場合は、六角レンチで確実に締めこんでください。(4箇所)</p>  <p>六角穴付きボルト (M6×10)</p> <p>六角穴付きボルト (M5×15)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p> <p>六角レンチ 対辺: 5mm</p> <p>確認 締め付けトルク: 9.8N・m(100kgf・cm)</p> <p>確認 締め付けトルク: 1.5N・m(15kgf・cm)</p>	<p>手順⑧</p> <p>手すりフレームを差し込んで、六角穴付き止めねじ6箇所を六角レンチで締め付け、手すりフレームを固定してください。</p>  <p>膝当て</p> <p>六角穴付き止めねじ (M8×5)</p> <p>六角レンチ 対辺: 4mm</p> <p>確認 締め付けトルク: 3.9~4.9N・m(40~50kgf・cm)</p>

⚠ 注意

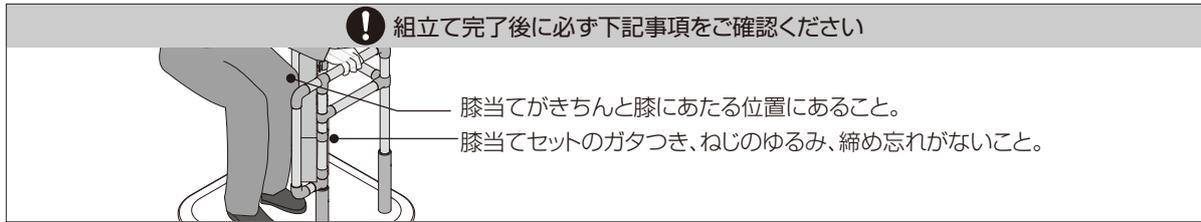


必ず守る

- 必ず仮締めをしてから本締めをする。
急に本締めしてしまうと六角穴付きボルトがうまく取り付けられない場合があります。
- 取付穴にボルトをまっすぐ入れて締め付ける。
まっすぐになっていないと最後まで完全に締め付けられないため、ガタつきまたは部品の破損の原因になります。



▶次ページに続きます。



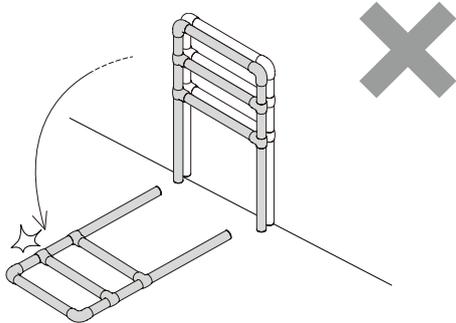
⚠ 注意	
⊘ 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定締め付けトルク以上で締め付けない。 ● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 （ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品交換を行う際は、指定部品を使用する。 ● 部品交換を行った際は、ご使用前にねじのゆるみ、ガタつきがないことを再確認する。 ● 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。

3. 保管・輸送方法

- 製品は直射日光を避けて、乾燥した常温の室内に保管してください。
- 手すりは安定した状態で保管・輸送してください。
- 手すりは外部からの衝撃や荷重がない状態で保管・輸送してください。

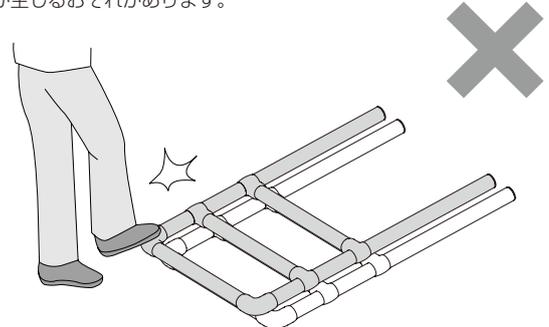
①手すりを立てかけるなど不安定な状態で保管・輸送をしない。

倒れた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



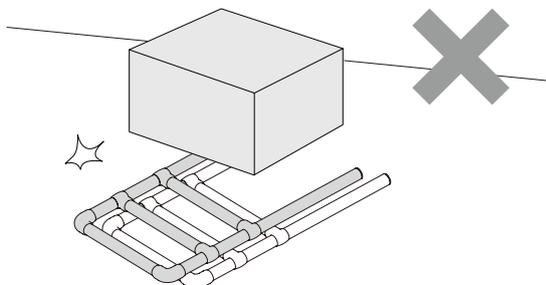
②手すりを地面に寝かせた状態や重ねた状態で保管・輸送をしない。

足で踏んだり、重ねた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



③手すりの上に荷物を載せない。

手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



⚠ 注意	
⊘ 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 手すりを保管・輸送する際は手すりに衝撃や荷重をかけない。 手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光の当たらない、乾燥した常温の室内に保管する。 高温多湿の場所で保管すると変形、結合部の外れの原因になります。

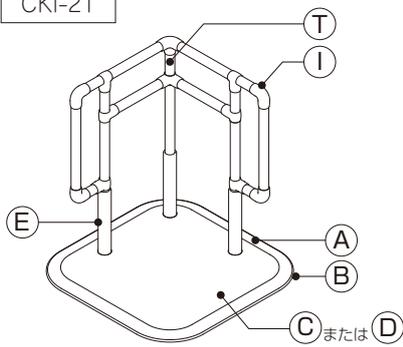
4. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考:次亜塩素酸ナトリウム6%水溶液なら120倍～300倍程度に希釈)

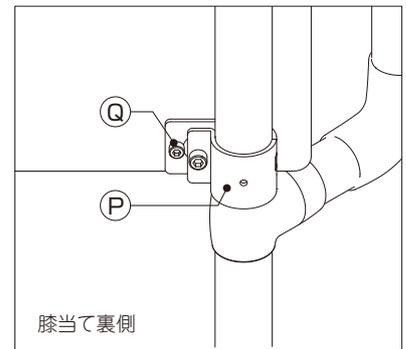
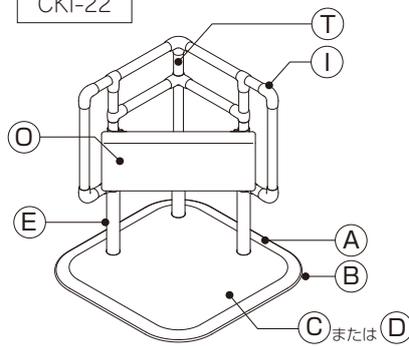
⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります

5. メンテナンス部品表

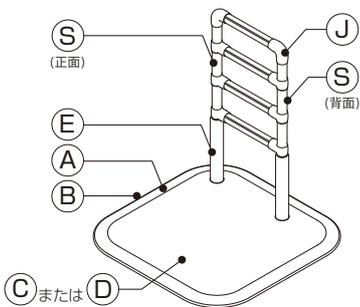
CKI-21



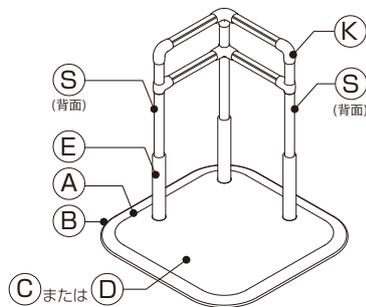
CKI-22



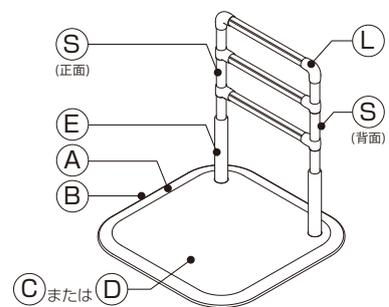
CKA-22



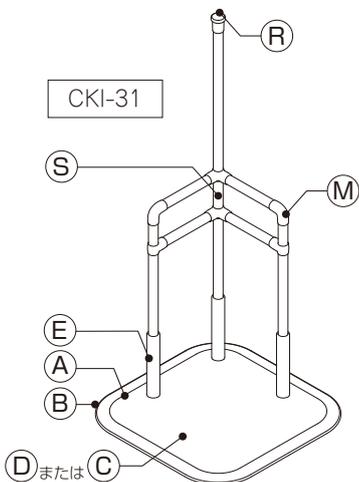
CKA-23



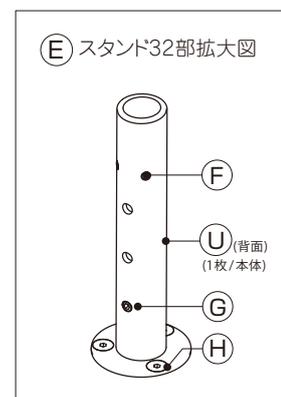
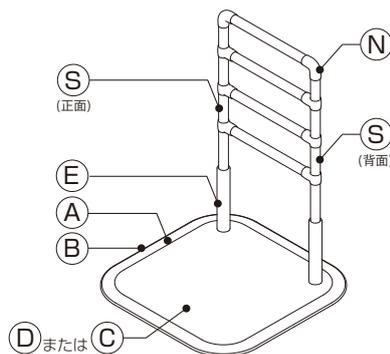
CKA-24

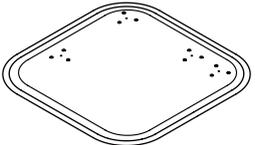
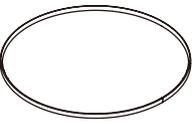
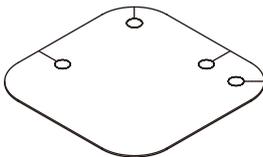
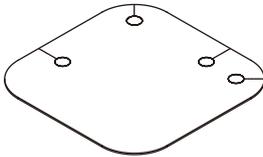
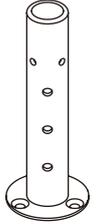
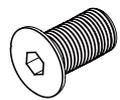
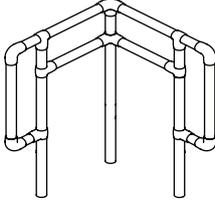
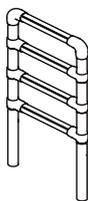


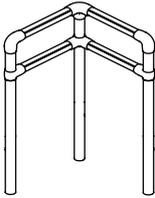
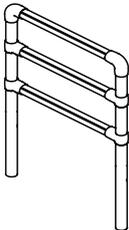
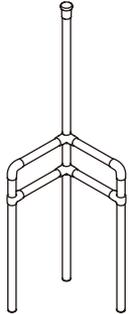
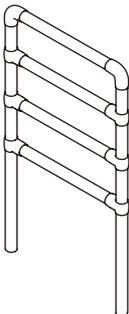
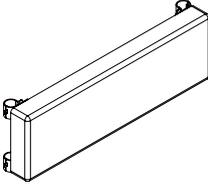
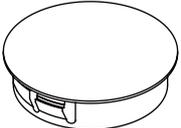
CKI-31



CKA-31



記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	共通	たちあっぷⅡ ベースⅡ (縁ゴム付)	CKA-2AA		ステンレス 縁部：樹脂、アルミ	1 台
B	共通	たちあっぷⅡ 縁ゴムⅡ BR (1 周)	CKA-2AC		樹脂、アルミ	5 本
C	共通	たちあっぷⅡ マットⅡ A	CKA-2DA		ポリエステル 吸着部：アクリル樹脂 色：ベージュ	1 枚
D	共通	たちあっぷⅡ マットⅡ D	CKA-2DD 2 枚		ポリエステル 吸着部：アクリル樹脂 色：ブラウン	2 枚
E	共通	たちあっぷⅡ スタンド 32	CKA-2BA32		ステンレス	1 本
F	共通	六角穴付き止めねじ (M8×5)	CKA-2BB M8×5 12 枚		ステンレス(黒)	12 本
G	共通	六角穴付き止めねじ (M10×36)	CKA-BC M10×36		ステンレス	10 本
H	共通	六角穴付き皿ねじ (M8×15)	CKA-2BD M8×15 18 枚		ステンレス	18 本
I	CKI-21 CKI-22	手すりフレーム CKI-F21 (φ32)	CKI-F21		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1 台
J	CKA-22	手すりフレーム FI4 (φ32)	CKA-FI4		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1 台

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
K	CKA-23	手すりフレーム FL3 (φ32)	CKA-FL3		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1台
L	CKA-24	手すりフレーム CKA-F24 (φ32)	CKA-F24		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1台
M	CKI-31	手すりフレーム CKI-F31 (φ32)	CKI-F31		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1台
N	CKA-31	手すりフレーム CKA-F31 (φ32)	CKA-F31		ジョイント：樹脂 パイプ：プラスチック被覆 スチールパイプ	1台
O	CKI-22	膝当てセット (取付金具付き)	CKI-2E		膝当て：樹脂 取付金具：スチール	1式
P	CKI-22	取付金具 (M6×10六角穴付きボルト付き)	EB-4018		スチール	1個
Q	CKI-22	六角穴付きボルト (M5×15)	CKI-G 10個		ステンレス	10本
R	CKI-31	ロック解除ノブキャップ	CKI-FB BK 5個		樹脂	5個

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
S	CKA-22 CKA-23 CKA-24 CKA-31 CKI-31	注意喚起シール A	CKA-GCA 50 枚		樹脂	50 枚
T	CKI-21 CKI-22	注意喚起シール B	CKA-GCB 10 枚		樹脂	10 枚
U	共通	注意喚起シール	CKA-2GB 5 枚		樹脂	5 枚
—	共通	六角レンチ (対辺 4mm)	CKA-MH 4M		スチール	5 本
—	共通	六角レンチ (対辺 5mm)	CKA-MJ 5M		スチール	5 本
—	共通	たちあっぷⅡ スプレー塗料	CKA-2AS SL		アクリルラッカー	1 本

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北海道支店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美唄市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙台支店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関東支店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東京支店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神奈川支店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静岡支店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名古屋支店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大阪支店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広島支店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九州支店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

17052211

DW-242-06